

八重樫東香 （号） 編輯者。明治二十七年十一月二十一日岩手縣花巻
生れ、昭和十八年十一月一日歿（一九〇一—四三）。本名君子。筆名八重樫
前美（子）。父源太郎は政治家原敬門下で、『岩手毎日新聞』創始者
の一人。大正十二年青山女學院卒。主婦之友社を経て、昭和二年民友
社入社。社主徳富蘇峰の秘書となり、爾來重用せられた。十一年『蘇
峰先生著作五十選』（八重樫前美子、十一月五日徳富蘇峰先生文章報
國五十年祝賀會）と並木仙太郎（淺峰）と共に編、更に蘇峰著『我が交
遊録』（昭和十二年三月六日中央公論社）の筆記を擔ひ、同じく『昭
和國民讀本』（昭和十四年一月十一日東京日日新聞社・大阪毎日新聞
社）の編纂に當つた。また同郷の詩人宮澤賢治顯彰の筆記も執つてゐる。
獨身の儘病歿。花巻市圓通寺境内に東香碑がある。

編著の『愛國讀本』（八重樫前美子、昭和八年三月二十一日野ぼら社）、
『花と文藝傳説—花と生活・花と葉集』（八重樫前美子名、昭和九年
十月十五日野ぼら社）。